

今年度も宮古恵風支援学校では、地域における特別支援教育のセンター校として、生活や学習の悩み、友達との関係など発達に関わる悩みをもつ方々の相談・支援活動を行っております。

昨年度、本校支援部に寄せられた相談・支援内容と相談件数について紹介いたします。今後も支援内容の充実を図るために研修に努めて参ります。地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成27年度宮古圏域支援業務・教育相談実施件数より

1 相談件数（4月～3月）

幼保	小学校	中学校	高等学校	その他	計
81	93	51	5	149	379



2 相談内容内訳

就学相談	24
養育相談	24
発達相談	270
個別指導	24
学校見学	19
その他	18

3 相談形態

訪問	295
来校	56
電話	15
その他	13

4 他の支援業務

すこやか幼児教室	9
ひよこ幼児教室	13
わくわく教室	6
就学指導委員会（※1）	15
継続型訪問支援	23
関係諸機関（※2）	17
研究会研修会講師（※3）	6

※1 就学指導委員会・・・宮古市、岩泉町、田野畑村、山田町

※2 関係諸機関・・・自立支援協議会発達部会、県療育センター関係者ミーティング他

※3 研究会研修会・・・すこやか幼児教室、いわいずみこども園他

5 継続型訪問支援 対応8校（特別支援学級8学級対応） 年間3回の訪問

- ・宮古市立花輪中学校 ・宮古市立田老第一小学校 ・宮古市立重茂小学校 ・宮古市立赤前小学校
- ・岩泉町立二升石小学校 ・山田町立山田南小学校 ・山田町立船越小学校 ・田野畑村立田野畑小学校

6 今後の課題

- ・特別支援教育について、保護者の理解を促す。
- ・保護者の家庭的な背景（貧困、虐待、愛着、社会的養護、震災遺児）に学校が苦慮しているケースも多い。（震災後に発生してきたケースもある）
- ・学習、行動、対人面で課題が増えており、個への支援とともに学級（集団）への手立てが必要。
- ・小中学校の引き継ぎや近隣小中学校との情報交換等を積極的に推進する。
- ・校内就学指導委員会において、就学基準から児童生徒の望ましい就学先について検討し、市町村就学指導委員会で審議できるようにしたい。
- ・本校に支援依頼する段階で、自校の校内支援体制及び地域資源の活用等を行い、支援方針が立てられていることが望ましい。（校内で児童生徒への見立てができて、その後の相談というケースも増えてきている。）実態把握や問題となる行動への支援方針を定められるよう支援したい。